

令和6年 桂川町  
祝 二十歳のつどい



令和6年桂川町二十歳のつどい

# 未来への第一歩 恐れずに踏み出して

1月7日に行われた今年の桂川町二十歳のつどい。20歳を迎える83人が参加し、それぞれの夢への新しい門出を迎えました。



1月7日(日)、桂川町住民センターで令和6年桂川町二十歳のつどいが開催され、83人が参加しました。

平成15年4月2日から平成16年4月1日生まれが対象の今年の参加者たち。受付時間になると、振り袖やスーツなどの晴れ着姿を身にまとい、続々と来場。

久しぶりに再会した友人らと写真を撮ったり、思い出話を花を咲かせたりするなど、旧交を温め合う様子が随所で見られ、会場内は笑顔の花であふれました。

式典は、王塚太鼓保存会による演奏で幕を開け、井上町長や林議長からの祝辞が述べられました。また、大庭教育長は開式にあたり、「令和6年は能登半島地震など、暗いニュースから始まりました。しかし、今日皆さんのお姿を見て、若い力こそが復興の礎になり得ると感じました。皆さまのご活躍を祈念いたします。」と激励し、参加者たちの門出を祝しました。そして、代表として登壇した原田 葉さんが、井上町長に謝辞を述べました。

新しい門出の日を故郷の桂川町で迎えた参加者たち。それぞれの夢に向かって、新しい一歩を踏み出します。